



「遊園地」昭和35(1960)年 / 水戸市立博物館所蔵

# 中村光哉の染色 —特別展— 黒の時代 —蠟ろうの仕事

KOYA NAKAMURA'S WORKS: BLACK PERIOD BY WAX-RESIST DYEING

令和5年10月21日[土]→11月26日[日] 休館日:月曜日  
開館時間:9時30分→16時45分

会場:水戸市立博物館 4階展示室

主催:水戸市立博物館

料金:一般200円[20名以上の団体は150円] ※高校生以下、65歳以上、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等所持者とその付き添い1名は無料。その他各種割引あり。

## 水戸市立博物館

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-20 Tel. 029-226-6521 Fax. 029-226-6549

URL: <http://shihaku.lhs.plala.or.jp/>

博物館HP



公式SNS



# 中村 光哉の染色 —特別展— 黒の時代—蠟<sup>ろう</sup>の仕事

水戸ゆかりの染色作家・中村光哉(1922-2002)は、友禅染めの人間国宝・中村勝馬(1894-1982)を父に持ち、自身もモダンな作風の友禅作家として知られています。

しかし、昭和30年前後から昭和50年代半ばにかけては、独自の芸術表現を求めて、蠟で防染する「ろう染め」に取り組みました。中村光哉はこの技法を用いて、黒を基調に、さまざまなモチーフによる画面構成を試みました。モチーフは楽器や遊園地などの楽しげなものから、直線や曲線による抽象表現、雲や炎といった愉快的な模様へと遷り変わり、黒を活かした迫力に満ちた世界が展開されています。この時期は、作家自身の言葉で「黒の時代」と呼ばれ、後年回帰する友禅染めの制作の礎ともなりました。

本展は、中村光哉が試行錯誤を重ね情熱を注いだ「黒の時代」の作品を中心に展示し、その魅力を紹介するものです。また、ネクタイ図案等の資料にも注目し、染色の世界で生きた作家の実像にも迫ります。本展が、中村光哉に改めて光を当て、多くの方にその存在と業績を知っていただく機会となれば幸いです。

## ●関連行事

講演会：ろう染めと絵画性

～中村光哉「黒の時代」作品から～

講師：戸矢崎満雄氏[神戸芸術工科大学教授]

日時：11月11日[土]13時30分→15時

申込：10月25日[水]9時から電話受付、先着順

定員：40名

会場：3階視聴覚室

参加費無料

ギャラリートーク(学芸員による展示解説)

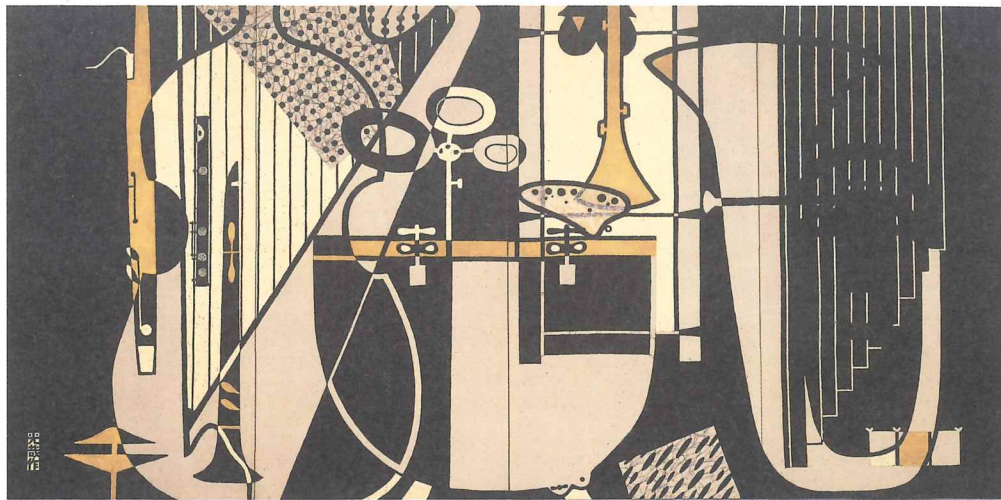
日時：10月28日[土]・11月3日[金・祝]・19日[日]

各日：11時→11時30分/14時30分→15時

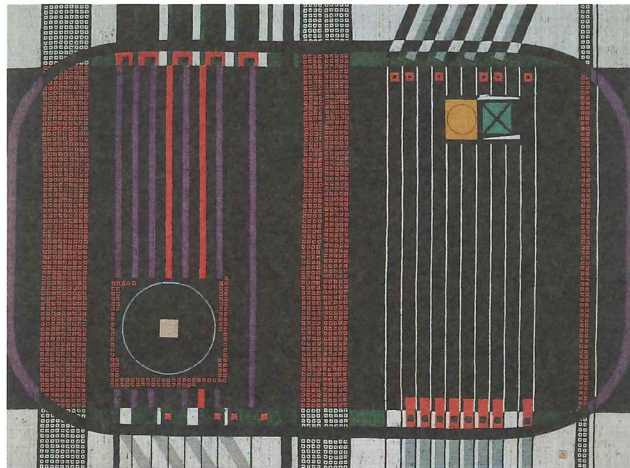
会場：4階展示室

申込不要・参加費無料

※一般の方は入場券が必要です。



「楽器」昭和31(1956)年/学校法人上野学園所蔵

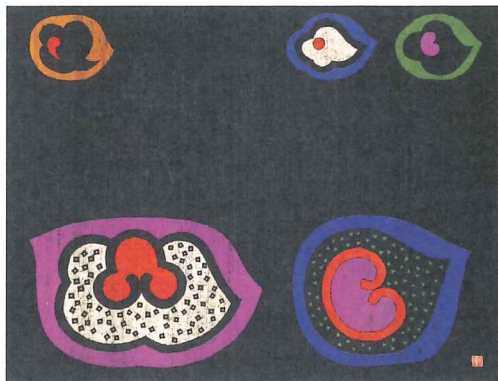


「或る形象」昭和48(1973)年/東京藝術大学所蔵



「渦文」昭和45(1970)年/水戸市立博物館所蔵

## KOYA NAKAMURA'S WORKS: BLACK PERIOD BY WAX-RESIST DYEING



「雲紋」昭和53(1978)年/水戸市立博物館所蔵



●参考

中村勝馬「縮緬地友禅黒留袖」昭和30(1955)年  
水戸市立博物館所蔵

## ●同時開催

市立博物館コレクション展 第3期「墨に夢を乗せて 画家・林十江の世界」

会期：令和5年10月21日[土]→11月26日[日]

会場：3階展示室 (入場無料)

## ●一緒に

平和キャラバンが行く!

「何を願って、どう戦った!!」ーパールハーバーを知っていますか?ー

日時：令和5年12月9日[土]13時→16時/会場：三の丸市民センター

内容：国策紙芝居の朗読、戦争資料の展示と解説、工作教室/朗読協力：オリーブ

定員：50名(小学生以上)/申込：11月14日[火]9時から電話受付、先着順、小学生は保護者同伴、大人のみの参加も可。



## 水戸市立博物館

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-20

Tel. 029-226-6521 Fax. 029-226-6549

URL: <http://shihaku1.hs.plala.or.jp/>